

兼任教員情報公開用（最近5年間の主な業績等）

2024年

氏名	嘉多山 宗	担当科目	発展ゼミⅡ
学 位			
1988年3月	法学士		
主 な 学 歴			
年 月	事 項		
1988年3月	創価大学法学部卒業		
1992年4月	司法研修所入所		
1994年3月	司法研修所修了		
2019年3月	一橋大学大学院法学研究科博士後期課程 単位取得退学		
主 な 職 歴・経 歴			
年 月	事 項		
1994年4月	弁護士登録		
2002年4月	創価大学法学部非常勤講師（～2004年3月）		
2004年4月	創価大学法務研究科助教授（～2011年3月）		
2011年4月	創価大学法務研究科教授（～2012年3月）		
2012年4月	創価大学比較文化研究所教授		
2013年4月	東京造形大学非常勤講師（～2014年3月）		
2018年4月	創価大学法務研究科教授（～現在）		
最近5年間の主な業績等			
年 月	事 項		
2020年3月	【著書】 『「無罪」を見抜く：裁判官・木谷明の生き方（岩波現代文庫）』木谷明（著）、山田隆司、嘉多山宗（聞き手・編）		
2020年3月	伊藤滋夫『憲法と要件事実』（分担執筆：74～80頁、146～151頁）		
2020年12月	『お気の毒な弁護士——最高裁判所でも貰いたマチ弁のスキルとマインド』山浦善樹（著）、山田隆司、嘉多山宗（聞き手・編）		
2021年5月	「砂川事件最高裁判決の形成過程と今日的意義—入江俊郎の『統治行為論』を分析軸として」笹田栄司ほか著『統治構造における司法権が果たすべき役割 第1部』（判例時報2475号臨時増刊）		
2023年12月	「憲法裁判における裁判所と当事者の役割分担」渡辺康行編『憲法訴訟の実務と学説』（日本評論社）		
2021年2月	【学術論文】 「大橋正春・鬼丸かおる元最高裁判事に聞く——憲法訴訟の実務と学説」（聞き手・渡辺康行、嘉多山宗、巻美矢紀）法律時報93巻2号56頁		
2023年11月	「謝罪広告事件最高裁判決・入江意見を再読する 『納得ずくの民主主義』と『匹夫の志』」一橋法学22巻3号105頁		
	【所属学会および社会的活動等】 宗教法学会会員（理事）/日本公法学会 /全国憲法研究会会員 /憲法理論研究会会員 /東京弁護士会憲法問題対策センター委員		
（参考：外部リンク）プロフィールURL			
	https://www.soka.ac.jp/faculty-profiles/tsukasa-katayama		